

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
遺伝子工学的手法を用いた微小脊髄血管の血流維持機構の解明と麻酔薬作用に関する研究	中畑 克俊	麻酔科学	5,400 (1,620)	補 文部科学省 委
造血幹細胞移植後のウイルス感染症早期診断法の研究	吉益 哲	小児科学	600	補 文部科学省 委
トランスジェニックブタを用いた冠動脈攣縮機構の解明と麻酔薬作用に関する研究	木本 吉紀	麻酔科学	2,300	補 文部科学省 委
ぶどう膜炎に伴う併発白内障の成因と予防法に関する研究	白井 久美	眼科学	700	補 文部科学省 委
酸化ストレスの精密測定システム確立に関する研究	平野 綱彦	内科学第3	1,200	補 文部科学省 委
自己炎症性疾患制御因子Ttc7のヒトアトピー性皮膚炎発症における役割について	岡本 勝行	皮膚科学	1,700	補 文部科学省 委
自然発症型てんかんラットに対する慢性電気刺激、薬物持続注入の発作抑制効果	西林 宏起	脳神経外科学	500	補 文部科学省 委
血管収縮に及ぼす局所麻酔薬の構造特異性とタンパクリン酸化酸素の発現	栗山 俊之	中央手術部	900	補 文部科学省 委
体温変化が神経シグナルを介する脳微小循環制御に及ぼす影響の電気生理学的解明	堂城 真友子	麻酔科学	1,600	補 文部科学省 委

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
高血圧ラットにおける揮発性麻酔薬がアンギオテンシン系血管収縮に与える影響の解明	根来 孝明	麻酔科学	1,400	補 文部科学省 委
PPAR γ を標的とした眼炎症の治療戦略	宮本 武	眼科学	1,000	補 文部科学省 委
ループスエリテマトーデスにおける肥満細胞の多機能性の検討	吉益 隆	皮膚科学	1,800	補 文部科学省 委
Cタイプレクチンペア受容体DCIRとDCARによる樹状細胞機能制御機構の解明	金澤 伸雄	皮膚科学	1,700	補 文部科学省 委
プロポフォールの代謝における遺伝子多型の影響	時永 泰行	麻酔科学	1,900	補 文部科学省 委
難治性中耳炎および副鼻腔炎に対するドラッグデリバリーシステムを用いた治療法の開発	鈴木 正樹	耳鼻咽喉科学	2,600	補 文部科学省 委
急性中耳炎の発症におけるウイルス-細菌相互作用における検討	山内 一真	耳鼻咽喉科学	1,600	補 文部科学省 委
口腔癌における抗癌剤耐性に関連する遺伝子の解析と耐性克服についての検討	中谷 現	歯科口腔外科学	1,700	補 文部科学省 委
小児ネフローゼ症候群に対する初期治療確立を目指した多施設共同臨床研究と拡大臨床試験体制整備	吉川 徳茂	小児科学	61,970 (18,591)	補 厚生労働省 委

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
呼気凝縮液を用いた気管支喘息の 気道炎症評価法の確立と臨床応用 に関する研究	一ノ瀬 正和	内科学第 3	9,000	<input checked="" type="checkbox"/> 補 厚生労働省 <input type="checkbox"/> 委
				<input checked="" type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Diabetes Res Clin Pract. 2008 Jan;79(1):11-7	Ferulic acid prevents pathological and functional abnormalities of the kidney in Otsuka Long-Evans Tokushima Fatty diabetic rats.	Atsuyo Fujita	内科学第一
J Clin Endocrinol Metab. 2008 Jan;93(1):310-4	Polymorphisms in the IDE-KIF11-HHEX locus are reproducibly associated with type 2 diabetes in a Japanese population	Yasushi Furukawa	内科学第一
末梢神経 18(2):p248-251, 2007	糖尿病ポリニューロパチーの危険因子の検討	小河健一	内科学第一

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Intern Med 46: 81-84, 2007	Advances in Pharmacotherapy for COPD	M. Ichinose	内科学第三 (呼吸器)
Chest 132: 890-899, 2007	Overexpression of CD-11b and CXCR1 on Circulating Neutrophils: Its Possible Role in COPD	T. Yamagata	内科学第三 (呼吸器)
J Cell Physiol 210: 99-110, 2007	Prostaglandin E(2) protects human lung fibroblasts from cigarette smoke extract-induced apoptosis via EP(2) receptor activation	H. Sugiura	内科学第三 (呼吸器)
Am J Respir Cell Mol Biol 37: 424-430, 2007	Cultured lung fibroblasts from ovalbumin-challenged asthmatic mice differ functionally from normal	H. Sugiura	内科学第三 (呼吸器)
Pulm Pharm Ther 20: 596-605, 2007	Decreased expression of antioxidant enzymes and increased expression of chemokines in COPD lung	M. Tomaki, M. Ichinose	内科学第三 (呼吸器)
Am J Respir Cell Mol Biol 37: 113-120, 2007	Prostacyclin analogs inhibit fibroblast contraction of collagen gels through the cAMP-PKA pathway	K. Kamio, H. Sugiura	内科学第三 (呼吸器)
International Medical Journal 14: 35-39, 2007	Reduction of Regional Cerebral Blood Flow of Patients with Liver Cirrhosis and Correlation with Serum Albumin	H. Tanaka	内科学第三 (肝臓)
Pulm Pharm Ther 20: 701-707, 2007	Improvement of pulmonary function and dyspnea by tiotropium in COPD patients using a transdermal β_2 -agonist	K. Akamatsu	内科学第三 (呼吸器)

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Mod Rheumatol 17: 262-264, 2007	A case of polymyositis with a significantly high level of KL-6 associated with pancreatic cancer	Y. Kida	内科学第三 (肝臓)
Hepatology International 1: 382-386, 2007	Estimated protein intake by urinary urea nitrogen in patients with early stage liver cirrhosis	Y. Kida	内科学第三 (肝臓)
Analytical Chemistry Insights 1: 1-7, 2007	The Influence of Free 3-Nitrotyrosine and Saliva on the Quantitative Analysis of Protein-Bound 3-Nitrotyrosine in Sputum	K. Ueshima	内科学第三 (呼吸器)
Analytical Chemistry Insights 2: 85-92, 2007	Possible impact of salivary contamination on cytokine analysis in exhaled breath condensate	T. Ichikawa	内科学第三 (呼吸器)
Modern Rheumatology 17: 492-495, 2007	Infectious mononucleosis-like syndrome induced by salazosulfapyridine in a patient with rheumatoid arthritis	K. Furukawa	内科学第三 (膠原病)

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 1 1)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Circ J 71(9) : 1376-1382, 2007	Effects of Plasma Adiponectin Levels on the Number and Function of Endothelial Progenitor Cells in Patients With Coronary Artery Disease.	Matsuo Y (松尾好記)	循環器内科
J Am Coll Cardiol 50(10) : 933-939, 2007	Assessment of Culprit Lesion Morphology in Acute Myocardial Infarction, Ability of Optical Coherence Tomography Compared With Intravascular Ultrasound and Coronary Angioscopy.	Kubo T (久保隆史)	循環器内科
Circ J 71(9) : 1473-1479, 2007	Evaluation of Pharmacological Modulation of Nitroglycerin-Induced Impairment of Nitric Oxide Bioavailability by a Catheter-Type Nitric Oxide Sensor.	Imanishi T (今西敏雄)	循環器内科

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Clinical Neuroscience	Sublabial transnasal approach with a partial resection of the nasal floor for midline skull base tumors.	Nakao N and Itakura T	脳神経外科

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Kyobu Geka. 2008 Jan;61(1):31-5. Japanese.	[Histoculture drug response assay guided concurrent chemoradiotherapy for non-small cell lung cancer]	Tamaki T, Oura S, Yoshimasu T, Ota F, Nakamura R, Shimizu Y, Kiyoi M, Naito K, Hirai Y, Okamura Y.	第一外科
Breast Cancer. 2007;14(4):401-5.	In vitro evaluation of dose-response curve for paclitaxel in breast cancer.	Yoshimasu T, Oura S, Hirai I, Tamaki T, Kokawa Y, Ota F, Nakamura R, Shimizu Y, Kawago M, Hirai Y, Naito K, Kiyoi M, Tanino H, Okamura Y, Furukawa T	第一外科
J Thorac Cardiovasc Surg. 2007 Sep;134(3):789-91.	Relation of waveform of transit-time flow measurement and graft patency in coronary artery bypass grafting.	Hatada A, Yoshimasu T, Kaneko M, Kawago M, Yuzaki M, Honda K, Komori S, Iwahashi M, Hayashi H, Yamamoto S, Nishimura Y, Hiramatsu T, Okamura Y.	第一外科

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。